

発達障害児とその母親を対象とした水泳教室

(ターゲット横断的なスポーツ実施者の増加方策事業)

プロジェクトの実施体制

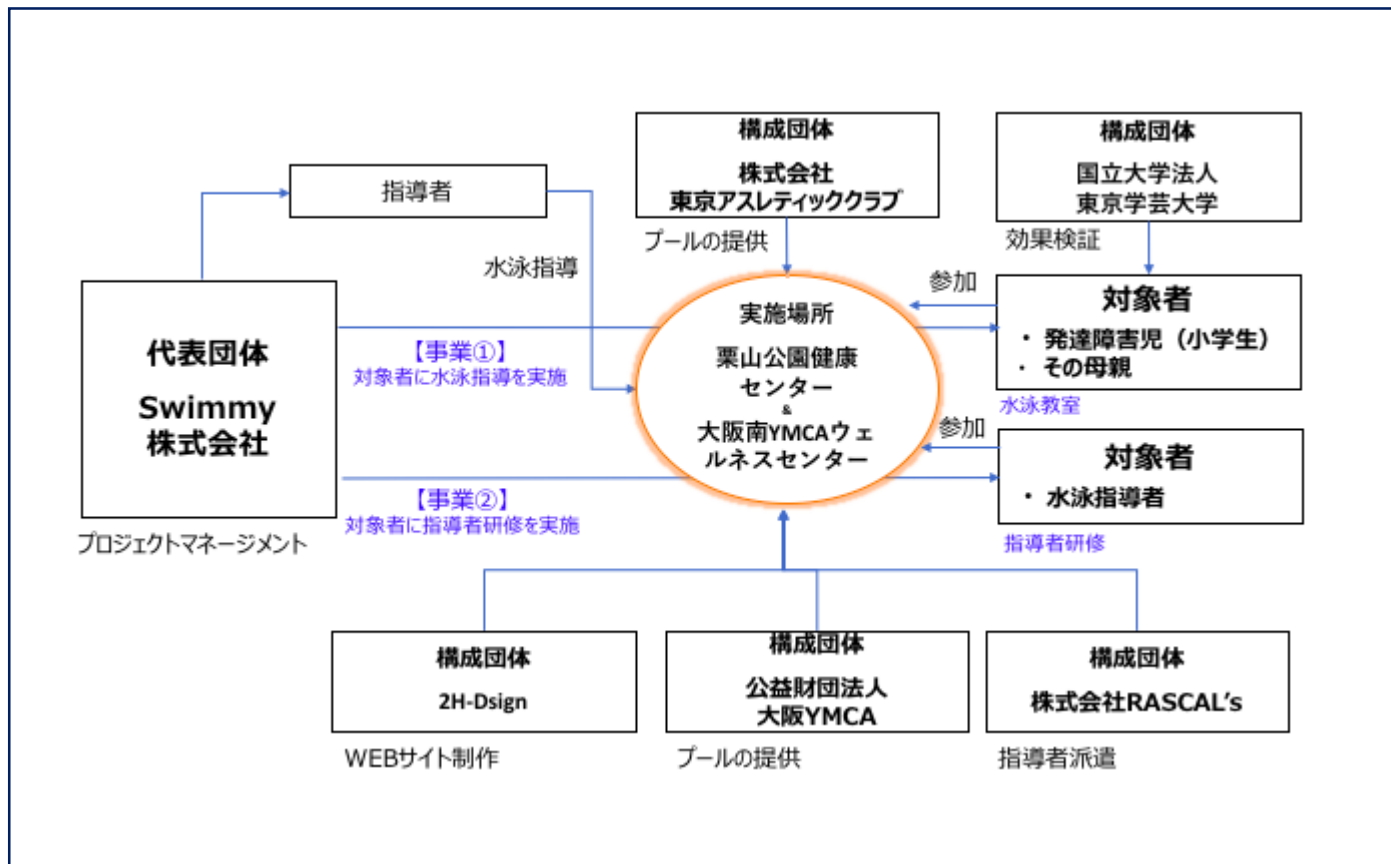
実証フィールド	栗山公園健康センター、大阪YMCA
代表団体	Swimmy株式会社*
構成団体	公益財団法人大阪YMCA*、東京学芸大学、株式会社東京アスレティッククラブ、株式会社RASCAL's*、2H-Design* ※「*」はSport in Lifeコンソーシアム加盟団体

プロジェクトの実施概要

ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> 発達障害のある小学生、その母親 障害の種類：発達障害（自閉症、学習障害、注意欠陥多動性障害、情緒障害等） 性別：男女（小学生）、女性（母親） 居住エリア：東京都、大阪府
ターゲットのスポーツ実施阻害要因	発達障害児に水泳を指導できる指導者の不足、安全な指導を行うための知識や経験の不足、またこれらに伴う水泳教室の不足が、スポーツ実施を妨げている要因であると仮説し、これらの要因を解決すべく「水泳教室」と「指導者研修」を実施する。

プロジェクト実施内容	①水泳教室の開催（大阪YMCAと栗山公園健康センターの屋内プールで実施） ②指導者研修（発達障害児への水泳指導方法について）
------------	---

【プロジェクトスキーム図】



実施内容の報告

①第1回水泳教室（栗山公園健康センター） 10月17日開催

- 発達障害児とその母親向け水泳教室を実施。
- 子ども1人、母親1名参加。（予定より少ない）
- 課題

参加してくれた母親は「今後、子どもの一緒にプールに行きたい」と回答してくれたものの、「水泳を教えるためのノウハウやスキルは身につけていない」という回答になっているので、次回以降は母親に水泳指導しながら、子どもに水泳を教えるポイントも開設できるようにしたい。



水泳指導中

②第2回水泳教室（栗山公園健康センター） 11月7日開催

- 発達障害児とその母親向け水泳教室を実施。
- 子ども4人、母親1名参加。（予定より少ない）
- 課題

参加者が子供だけになったが、参加アンケートからは、みんな楽しく充実した時間が過ごせたようだった。



水泳指導中

③第3回水泳教室（大阪YMCA） 11月15日開催

- 発達障害児とその母親向け水泳教室を実施。
- 子ども2人参加。（予定より少ない）
※風邪により2名キャンセル

■ 課題
参加者が子供だけであったが、参加アンケートからは、「水泳が好きになった」という結果が得られた。



大阪YMCAが実施する知的障害者向け水泳教室「エンジェルスイミング」を見学

④第4回水泳教室（栗山公園健康センター）

- 発達障害児とその母親向け水泳教室を実施。
- 子ども8人、母親3名参加。（適正人数）
- 課題

子ども達全員が水泳を「好き」になってくれたが、「自信がつけられるよう、できたことを積極的に褒めるように心がける。



水泳指導中